

第4回 土岐市総合計画審議会 議事録

1 開催日時・場所

平成27年6月24日(水) 午前10時から
土岐市文化プラザ 2階 特別会議室

2 次第

開 会

1. 会長あいさつ
2. 第3回審議会の意見について
3. 議事(審議)
 - (1) 基本構想案について
 - ・基本構想案について
4. その他
5. 閉会

3 資料

- 資料1 第3回土岐市総合計画審議会議事録
資料2 第六次土岐市総合計画・基本構想案
資料3 土岐市総合計画基本構想案の主な修正について

4 出席者

欠席者：なし

5 議事

1. 会長あいさつ

おはようございます。会議の迅速な進行にご協力をお願いします。

お手元の事項書、審議会の次第に従って審議を進めたいと思います。よろしくお願ひします。

2. 第3回審議会の意見について

事務局 資料1について説明。

3. 議事(審議)

(1) 基本構想案について

事務局 資料2、3について説明。

会長 基本構想案について、質問や意見があればお願いします。

A委員 23ページの市政満足度指標の目標が35%では低くないですか。土岐市の目標

です。せめて50%くらいではないでしょうか。

32 ページの陶磁器産業の振興について、産業をもっとブラッシュアップして、美濃焼産業そのものを強くする、ブランディングすることに加えて、PR することを書くようにできないでしょうか。このままではダメです。強くしてもっとPR していくことを書いて欲しいです。

事務局 「産業基盤の強化を図るとともに」といった記述を追加します。

会長 23 ページには主観的なアンケート結果だけが書いてあるが、客観的な指標もセットで書くというのが一般的な考え方です。人口は客観的な指標になるので、政策努力によって5万6千人にするということを4番目の客観指標にしてはどうでしょうか。人口は「目標人口」という言葉ではなく「想定人口」という言葉を用いる自治体もあります。そもそも人口を目標にできるのかという議論もあります。どちらが土岐市にふさわしいか検討してください。

B委員 人口・世帯数の前提となる条件も記載していただけると良い。この数値は楽観視した数値なのか、想定で書かれているのか、相当いろいろな施策を打ってようやく達成できるものなのか、どちらでしょうか。

事務局 人口はいろいろな施策を打った上で、合計特殊出生率や転出転入の移動を改善したもので推計しています。世帯数については、過去の数値をもとに計算して算出しています。

B委員 合計特殊出生率は2040年までに直線的に2.07まで上がっていく想定なのではないでしょうか。そういう前提も記載した方が良いと思います。

事務局 社人研の推計とは土岐市は3,300人ほどの乖離があり、重点的にいろいろな施策をやらないと維持できないと考えています。

B委員 内訳を想定しないといけない。高齢者の比率や若年人口、特に女性人口を強化していかないと、この後の落ち込みが急になります。なだらかに減少していくと市民が危機感を持ちにくいと思います。

会長 数値を定めた根拠についても、小さい文字でよいので注書きで書いてください。政策的な努力をしないで放っておくと大変な問題になることを分かるようにしておく方が良いと思います。

C委員 全体の傾向として減ることは間違いない。減る傾向はあるが、ソフトランディングする必要があります。減ることを前提として目標を掲げていることは素直に書くべきではないでしょうか。

会長 変化というのは、ゆるやかな変化であれば社会は対応できるが、急速な変化、急速な人口増加、人口減少には対応できないので、あまりに急速な人口減少では様々な問題が出てきます。どのくらいで止めるのかという議論で、国は1億人を維持することを挙げています。マイルドに減らしていくことが現実的などころだと思っています。

D委員 30 ページの子育て支援の充実について、親の育成を入れた方が良いと思いま

す。親の健全育成、家庭教育の充実など、親の自立ができていない部分を強化しないといけないと思います

会長 子育て世代への支援は重要です。介護でも同じです。介護する側への支援も必要です。

同ページの基本目標で、「安心・福祉」だと健康や医療が抜ける恐れがあります。可能であれば、「安心・医療（健康）・福祉」とするなど、健康や医療も入れた方が良くと思います。

C委員 8ページについての私の意見でハナノキが却下されましたが、せめて「シデコブシなど」としてほしいです。

「美濃焼が世界的」というのも却下されました。輸出の面からは世界有数の産地ですし、志野織部の芸術性を世界的と見るかどうかになります。世界有数という表現も妥当で否定されることはないと思います。

A委員 最近日本食も非常に評価されており、世界的な評価を得ることについて問題はないと思います。国内では断トツの生産量を誇っており、量、質ともに世界有数であることは問題ないと思います。

C委員 今の方が世界有数に近い。先に「世界有数」と謳うことは問題ない、謳うことによって我々の姿勢が問われるので、積極的に使うべきです。もう一度ご検討ください。

将来像の「織りなす」と「交流」が意味的に重複しています。「交流」を「共生」などとした方が良くと思います。

安全面について、土岐市は歩道の整備が悪いです。特に、市道については歩道がないので、「歩道の整備・充実」を謳って欲しいと思います。

事務局 歩道の整備については、現在もやっており、今後も継続して進めていくと考えています。そのような個別施策は実施計画の中で謳っていきます。「交通安全の推進」の中で、交通安全施設の整備として歩道の整備も含めて総称していると考えています。

C委員 意味は分かりますが、ウォーキングが盛んになっていますし、2025年問題への対処としても健康対策は重要ですので、あえて歩道の整備を取り上げて欲しいと考えます。

会長 オランダは優先順位をはっきりとしています。水辺に近いところは歩道、次に自転車道、最後に自動車道となっています。優先順位をつけて、快適な場所を歩道にしているのです。そういう価値観の転換を図るかどうかの問題です。車道を作るなら歩道もセットで作る、歩道を環境の良い所にするなど、考え方の転換を検討して欲しいと思います。

同じ36ページで、「防災」は「防災・減災」とした方が良くです。

E委員 まちづくりの課題をまとめ直していただきました。2つ目のまちの活力について、中心市街地や駅前の活性化の記述が削除されていますが、これは意図的な

のでしょうか。

事務局 土岐市駅周辺の課題として、にぎわいが失われていることは記載しています。駅周辺を独自のまちづくりで活性化していくことは難しいと考え、アウトレットなどの観光客を駅前に導くことでにぎわいを出していく展開を考えています。題目についても、「にぎわいの創出」から「にぎわいの展開」と変更している理由です。

E委員 各地区の商店街が寂れていることをどうするのか、どうしたいのかということは、あえて触れないのでしょうか。地元の商店街について、前回までは機能分担という記載がありました。

会長 まちなかの商店街自身の再生の取り組みが書いてないという指摘です。それは書いておいた方が良いでしょう。どちらもやるべきです。

E委員 土地利用構想について、方針がうまく表現されていない感じがします。土地利用構想の前に方針がないと、土地利用自体が書けないのではないのでしょうか。

会長 3章の一番後ろに持ってきて、基本指標があって、目標・施策があって、土地利用がある方が論理的なのではないでしょうか。

E委員 5次総では、土地利用の前に目標が来ています。

会長 土地利用の位置づけは難しいが、一度検討してもらえますか。

事務局 物語性からいうと、土地利用を目標に合わせて作っていくというE委員の指摘のようになるが、都市計画マスタープランなど他でも規定があるものなので、土地利用は別のものとしてあるという理解の方が良いのではと考えます。

会長 市民目線でいうと、ここに土地利用構想があることは流れが悪いと思いますが、他の市町村でも多くはこのような形になっています。どこに置いたら一番分かりやすいか検討してください。

3 ページなどで団塊世代という用語があります。狭義では、昭和 22、23、24 年に生まれた人であり、これが一般的になっていますが、広義では、前後 1 年を加えた 5 年間とする場合も少数ですがあります。狭義の場合は 2025 年、広義だと 2026 年になります。広義を使う場合は注釈が必要です。

F委員 41 ページに PDCA サイクルがあります。これによって施策・事業の見直しを行うことになりますが、基本構想は 10 年間見直しをしないということで良いのでしょうか。前回の説明では、実施計画は変えるが、その上にある総合計画は変えないとのことですが、状況は変わりますし、見直したほうが良いと思います。県だと中間年の 5 年目で見直しを行います。

また、その下に重要政策分野への重点的な対応とありますが、重要政策分野が何かを整理していないので、それをどうやって示すのか、例えば、実施計画の中で示していくなどの説明がないとわかりづらいです。さらに、総合戦略は 31 年度までの計画で、総合計画の 10 年間のうち最初の 4 年間だけのものです。いずれも書き方を工夫した方が良いでしょう。

- 事務局 基本構想の見直しについて、5次総でも将来像を中間年で見直しをしています。10年間の計画ということですが、明記するかどうかは別としても中間年で見直すことはあります。
- 重要政策分野について、総合戦略のことをあえて書くのかどうかも含めて再検討します。
- 会長 平成31年度までの人口ビジョン・総合戦略については、あまり重視しなくても良いかもしれません。ここでの書き方は検討してください。
- C委員 前は5年で見直すことを記載していたと思います。今回はPDCAで毎年やるということなのでしょうか。チェックで市民や有識者の参画も含めてとあるが、どういうシステムで見直しをするのか具体性に欠けると思います。
- 事務局 前は、基本構想、基本計画、実施計画の3階層であり、基本計画を5年で見直すとしていました。今回は基本構想と実施計画の2階層であり、基本計画に当たるものはありませんが、総合計画と整合性を保ち各課で策定される個別計画がその役割となり、個別計画の終期に応じて見直されることになることから、5年にこだわらず適宜見直すこととなります。
- PDCAサイクルによる進行管理については、外部有識者などによる評価が重要という指摘を踏まえて記載しています。しかし、仕組みについては確定されていないので、これから検討して具体的にどうしていくかを決めていきたいと思っています。
- C委員 審議会の市民代表が4人ですが、その比率を半分くらいにしてほしいと思います。市民の比重を多くした委員会を作ってほしいと希望を持っています。
- 事務局 公募委員だけでなく、ここに来ている方はほとんどが市民代表です。
- G委員 基本構想は10年不変のものとして読み込みました。実際にどうしていくかについては、実施計画の中で挙げて改善していく。前回、29ページの「地域医療の充実」を「総合病院の充実」にしたかどうかと意見したが、その後、この資料では「地域医療の充実」がふさわしいと思いました。なぜかという、「総合病院の充実」は実施計画に書く内容であると思いました。基本構想と実施計画をきちんと分けて、具体的にやることは実施計画で書き上げていくことが大事だと思いました。
- 事務局 個別の問題は実施計画でやっていきます。基本構想は10年後の土岐市のあるべき姿の目標として捉えていただくとありがたい。
- C委員 強調するところは強調しないといけないと思います。
- 例えば、「安全」について、歩道を重要視するのか車道を重要視するのかで違ってくるので、そういう表現はしても良いと思います。
- 事務局 36ページに「道路・河川の整備」という項目があります。ここでは、人と車が安全で快適に移動できることを目標にしているので、快適に移動できないという評価であれば、事業を見直していくこととなります。

C委員 どれを重点的にしていくかを具体的に述べておいた方が良いという意見です。
会長 一般的には、施策の方向性を示すことと、市にとって重要なものを具体的に基本構想に書くこととなります。

4. その他

事務局 次回の審議会は8月6日に予定しています。
最終の審議会であり、7月1日から基本構想案の意見聴取（パブリックコメント）を行います。それを踏まえて、基本構想案を直したものを皆さんに諮り、市長への答申を行う予定です。意見聴取を行う資料については、事務局で修正したものを会長に確認をしていただければと思います。
会長 大きな修正がなければ、事務局一任で良いと思います。
事務局 それで良いでしょうか。
各委員 異議なし。
G委員 実施計画はすでに作業を行っているのでしょうか、基本構想が確定しないと作成できないのでしょうか。
事務局 基本構想が確定する議決後になると、作業が遅くなってしまうので、並行して進めていきます。

5. 閉会

(午前11時37分閉会)

以上